

# パロキセチン錠「フェルゼン」を 服用される患者様及びご家族の皆様へ

## お薬を飲む前に

18歳未満の大うつ病性障害のある人がこのお薬を飲んだ場合、有効性が確認できなかったとの報告や、死んでしまいたいという気持ちを強めるという報告があります。18歳未満の大うつ病性障害のある人は、医師と十分に相談してください。

## お薬の飲み方

- 医師または薬剤師から指示されたとおりに服用してください。
- 1日1回夕食後に、コップ1杯程度の水またはぬるま湯で飲んでください。
- 飲み忘れても決して2回分を一度に飲まないでください。気がついた時に、できるだけ早く1回分を飲んでください。ただし、次の飲む時間が近い場合は1回とばして、次の時間に1回分を飲んでください。

## 服用時の注意点

- 眠気、めまいなど症状があらわれることがありますので、自動車の運転などには十分に注意してください。
- うつ病やうつ状態の人は死んでしまいたいと感じることがあります。このお薬を飲んでいる間、特に飲み始めや飲む量を変更した時に、不安感が強くなり死にたいと思うなど症状が悪くなることもあるので、このような症状があらわれた場合は、医師に相談してください。
- 不安になる、いらいらする、あせる、興奮しやすい、発作的にパニック状態になる、ちょっとした刺激で気持ちや体の変調を来す、敵意を持つ、攻撃的になる、衝動的に行動する、じっとしていることができない、などの症状があらわれることがあります。これらの症状があらわれた場合は、医師に相談してください。このお薬との関連性は明らかではありませんが、これらの症状があらわれた人の中には、うつ症状などのもととある病気の症状が悪化する場合や、死んでしまいたいと感じたり、他人に対して危害を加えたりする場合があります。

- ご家族の方は、死にたいという気持ちになる、興奮しやすい、攻撃的になる、ちょっとした刺激で気持ちの変調を来すなどの患者さんの行動の変化やうつ症状などのもととある病気の症状が悪化する危険性について医師から十分に理解できるまでを説明を受け、患者さんの状態の変化について観察し、変化がみられた場合には、医師に相談してください。また、患者さんご自身も症状に変化があったと感じた場合には、ご家族の方にも伝えるようにしてください。
- このお薬は、飲むのを中止したり、量を減らした場合に、めまい、感覚の異常、睡眠障害(不快な夢など)、不安になる、いらいらする、あせる、興奮しやすい、意識の低下、吐き気、手足が震える、意識の混乱、汗をかく、頭痛、下痢などの症状があらわれることがあります。これらの症状の多くは、飲むのを中止してから数日内にあらわれ、2週間程度で治まります。症状の程度は、ほとんどが軽いものですが、我慢できない症状があらわれた場合は、医師に相談してください。
- このお薬は、体調がよくなったと自己判断して使用を中止したり、量を減らしたりすると、めまい・汗をかく・吐き気などの症状があらわれることがあります。指示どおりに飲み続けることが重要です。
- このお薬を使用していたお母さんから生まれた赤ちゃんに、先天異常(特に心臓奇形など)や肺高血圧症(皮膚や粘膜が青紫色になる、呼吸困難など)のリスクが増えるという報告、薬が体から排泄される過程で起こる症状(ぐったりしている、手足をブルブルふるったりする、けいれんなど)があらわれたとの報告があるので、妊娠または妊娠している可能性のある人は医師に相談してください。また、授乳は避けてください。
- 他の医師を受診する場合や薬局などで他のお薬を購入する場合は、必ずこの薬を飲んでいることを医師または薬剤師に伝えてください。